



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
4月号(通算 287 号)
2021 年(令和3年)3月 25 日発行

発行：NPO 法人堺観光ボランティア協会
理事長 山田 豊秋
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
TEL&FAX：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：<http://sakai-kanbora.org/>

百舌鳥古墳群ビジターセンターがオープン



3月13日(土)に百舌鳥古墳群ビジターセンターが元レストラン IROHA の建物にオープンしました。(IROHA は公園管理事務所の跡に移動しました。)

このビジターセンターは、初めて百舌鳥古墳群を訪れた観光客の方に、古墳とは何かを、そしてこの百舌鳥古墳群を理解してもらい、更には現在の古墳の状況、そして堺の伝統産業や観光施設を紹介する施設です。



シアターコーナーでは、大型スクリーンでプロジェクトマッピングが体験できます。幅 14m、高さ 3.3m の巨大スクリーンに映し出された映像を見たお客様から、歓声があがっていました。前半は 500m 上空からの仁徳天皇陵古墳と 1500m 上空からの百舌鳥古墳群の 8K 空撮映像、これは圧巻です。

次に妙國寺の蘇鉄や南宗寺の八方睨みの龍も趣向を凝らして映し出され、市内の観光スポットが紹介されます。また堺の伝統産業もドラマチックに登場します。あっという間の 10 分間です。

展示コーナーでは世界遺産百舌鳥・古市古墳群に関する概要の説明・日本各地の古墳や世界の陵墓の情報も展示されています。

そして物販コーナーでは、古墳関連グッズや堺ゆかりの品々がたくさん並べられています。

外国人対応としては常設のタブレットから「百舌鳥古墳群周遊ナビ」を英語・中国語(簡・繁)・韓国語で見ることができ、この百舌鳥古墳群が分かりやすく理解できます。お持ちのスマートフォンからもアクセスできるようになっております。

このように新しい、大仙エリアの顔としてお客様に楽しんでいただく素晴らしい施設がオープンしました。
(川上 由)



堺市博物館もリニューアルオープン



堺市博物館も古墳コーナーが全面的にリニューアルしました。

展示場へ入ると、まず百舌鳥古墳群から古市古墳群までの航空写真を見る事ができます。今までとは違い、竹内街道と長尾街道をオレンジ色で分かりやすく表示しています。そして旧大和川と古代の海岸線も青で示されています。

我々が海から百舌鳥、古市、明日香と説明をするのには大変分かりやすくなっています。

次に百舌鳥古墳群の代表的な前方後円墳が、築造の古い順番にパネルで解説されています。乳岡古墳からスタートして、履中天皇陵古墳、仁徳天皇陵古墳、そして最後のニサンザイ古墳までの前方後円墳の説明パネルが壁面にずらっと並べられました。

さらに中央部には石棺が今までとは違い、石室内にあるイメージで置かれています。次に進むと、形象埴輪が中央に展示され、壁面には前方後円墳の作り方が図解で分かりやすく説明されています。

また、本物の葺石を持つことができる体験コーナーなども新設されました。このようにインパクトある展示品と展示パネルの新設で、世界遺産に関する情報発信をさらに強化しています。大変楽しく分かりやすく見学ができるようになり、我々もお客様をご案内するのが待ち遠しいばかりです。



尚、リニューアル記念の特別企画展として、3月13日から5月9日まで、「海を越えたつながり・倭の五王と東アジア」と題して大阪府内、福岡県、埼玉県、の博物館・資料館の協力を得て大変興味深い出土品も展示されています。

是非ともこの期間に来館され、見聞を深めていただければと思います。(川上 由)

☆ 4月号 インデックス (目次)

巻頭言 百舌鳥古墳群ビジターセンターがオープン	P1	陸前高田の被災松の仏像	P10
堺市博物館もリニューアルオープン	2	堺唯一の総理大臣 鈴木貫太郎さんと私のまち久世	11
インデックス(目次)	2	地層剥ぎ取り標本がさかい利晶の杜に展示	12
事業部ニュース・総務部ニュース	3	泉北ウォーキング 3コース	13
定点ガイド部ニュース・企画部ニュース	4	「撮るさかい見てある記」JA CROP こぼれ話(11)	14
研修部ニュース・広報部からのお願い	5	ガイド豆知識18 秀吉、利休と黄金の茶室について	15
ツアーガイド部ニュース	6	町屋歴史館(山口家と清学院)「ひな飾り」展示	16
広報部ニュース	8	2021年4月度月間予定表	17
インフォメーション・ガイド便利MEMO	9	編集後記	18

事業部 ニュース

☆ 決算棚卸

3月26日(金) 事業部のすべての在庫の決算棚卸を実施します。

☆ 利休生誕500年第3回目会議

4月18日(日) 10:00~東洋ビルで実施します。

総務部 ニュース

★ 会員の状況

<3月25日 現在>

正会員数 235名・賛助会員数 6名・総会員数 241名

(退会者 12期:水谷弘和様、16期:玉置規夫様

17期:東田紀子様、27期:日高洋一郎様)

★ 定点配置確認簿廃止

配置時に署名していましたが総務部所管の「配置確認簿」を廃止します。

配布しています配置予定表に変更があった場合、事前事後に係わらず必ずオフィス担当までご連絡下さい。そうしていただかないと交通費を正しく支払えません。

☆ 2021年度ボランティア保険4月1日更新

3月31日現在の在籍会員で加入しますので、異動はもれなく速やかにお願います。

☆ 2021年度上期会費

5月支払い交通費から3,000円相殺させていただきます。

☆ 第14回通常総会

第14回通常総会は6月4日(金)午後2時開会の予定です。

定点ガイド部 ニュース

★ 連絡

1. 定点「大仙拝所前」の観光ボランティアの休憩場所が、3月13日の百舌鳥古墳群ビジターセンターオープンに伴いビジターセンター内に引越しました。館内のルールに従っての行動をお願いします。
2. 堺市博物館も百舌鳥古墳群ビジターセンターオープンと同時にリニューアルオープンしました。リニューアル部分の研修を予定しています。感染症対策を考慮した開催になります。開催方法や日時は後日連絡します。

**★非常事態宣言延長で、2月も活動を休止しましたので、
各定点の「活動日誌」の紹介はありません。**



観光ボランティア協会 HP より

企画部 ニュース

★ 大阪奈良歴史街道リレーウォーク

新年度が始まり、第六幕の開幕にあたり、6月14日(月)堺市を会場に第一回実行委員会の開催が決まりました。

★ 三好長慶公の石像を摂津峡公園に

高槻市摂津峡公園に三好長慶公の顕彰碑を建立する為、当協会の会員に協賛寄付をお願いいたしましたところ、30名の方から58,000円の協賛金が集まりました。

寄付を頂いた方の名簿と併せて三好長慶顕彰碑建立委員会に送金いたします。ご協力ありがとうございました。

研修部 ニュース

☆ 堺観光ボランティアガイド 30期生入門講座が始まります

入門講座：4月1日(木)～6月17日(木)全11回

大仙、展望ロビーで実地研修を4月12日(月)、15日(木)、21日(水)に行う予定です。新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら行っていきます。当日、定点配置・ツアーなどの関係会員は、ご協力よろしくお願いします。

☆ 【再募集】全体研修会開催のお知らせ

昨年12月8日に予定していましたが新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言で延期になった全体研修会「千利休と戦国武将」をあらためて開催します。

各回の定員は40名とし、希望者多数の場合は抽選します。結果は、当落にかかわらず申込者全員にメール・電話などでお知らせします。

なお、前回の研修予定日からかなりの日数が過ぎていますので、前回の当落に関係なく、あらためて募集し抽選しますのでご了承ください。

別紙、ご案内を同封しています。必ず、ご参照ください。

- ・ 日 時：2021年5月25日(火) 午前10時～12時
5月25日(火) 午後2時～4時(内容は午前と同じ)
 - ・ 定 員：各回40名
 - ・ テーマ：千利休と戦国武将
 - ・ 講 師：生形 貴重氏 千里金蘭大学現代社会学部名誉教授
 - ・ 場 所：東洋ビル4階7号室
 - ・ 申込み：5月活動予定表の右の各種行事予定表欄に○をおつけください。
定点活動希望日と重複しないようご留意の上、活動予定表のしめきり日までにお申し込み下さい。
- ※当日は制服・名札・マスクをご着用下さい。
※感染症再拡大等で催行不能になった場合はメール等でご案内します。



広報部からのお願い

広報部では観ボラ協会員の皆様の投稿をお願いしております。協会ニュースをよりいっそう皆様のものにする為、皆様の堺への思い・協会への思い・協会活動・ご自身のこと・ウンチク等、なんでも結構です。

又、利休生誕500年に関連して、「私と千利休」的なものも歓迎します。我と思われる方は、広報部員までご相談をお寄せください。

ツアーガイド部 ニュース

☆ 第41回堺新発見ツアー

「キリスト教の基地・堺」

集 合：4月17日(土)10時 南海本線堺駅

コース：阿免寺・本受寺・小西行長生家跡など

☆ 4月の堺自転車ツアー

集 合：4月11日(日)9時 百舌鳥古墳群ビジターセンター前

コース：古市古墳群へ行きます

★ ツアーガイド部主催勉強会

3月に少人数で入会5年以内の会員の勉強会を行っています。

今回は、1回目から3回目の報告を行います。

コロナ禍の中、活動はなかなか出来ませんでした。この時期にじっくりあらためてディープな堺を勉強してもらいました。まだまだ、気づいていない堺の姿を歩いて訪ねました。

報告：ディープな堺 勉強会①

3月11日(木) 戦跡巡りと知られざる堺商人の足跡

コース：堺市戦災受難之地碑・神明神社・戦災無縁地蔵尊・御蔭山跡・

久の森弁財天・すずめ踊りゆかりの地・堺の「岩室」・宿院頓宮

*案内人の新名さんから

今回、私が得た資料を、次の人に伝えられる機会を与えてくれたことに感謝します。戦争を体験していない世代がそれを伝承するには、遺跡の内容・意味・由来を伝えるしかありません。今残る、遺跡・史跡を大切にしていきたいものです。



*参加者の感想から

観光ボランティア協会に入会して、ガイドするようになってから、一番思っていた、堺は…焼けた、焼けたと、言う場面が多いという事でした。

今回参加して知らなかった戦跡巡りが出来、とても勉強になりました。本当にディープな堺を実感できました。殆ど知らない所だらけでした。頂いた沢山の資料を復習するようにします。

報告：ディープな堺 勉強会②

3月16日(火) いさな寄る茅渚の海 (魚介の宝庫)

コース：与謝野晶子歌碑(湊駅前)・堺紡績会社址・船待神社・本湊焼窯元・本行寺・片桐棲龍堂・新湊小学校(風車)

*講師の西本さんから

前回の新発見ツアーの時の下調べをした時に案内をして頂いた地元の方に、今回も同行して頂きました。



*参加者の感想から

紡績会社址、船待神社・湊焼き・本行寺など湊にも見どころが沢山ある事にまずびっくりしました。堺に住んでいながら、知らない事ばかりで、風車も初めて見ました。港と湊の違い、「なにさらしとんねん」の語源など、とても面白かったです。堺の引き出しがまたひとつ増えました。

報告：ディープな堺 勉強会③

3月19日(金) 幻の中世の堺

コース：大小路橋・熊野小学校前・菅原神社・ザビエル公園

*講師の弘瀬会員から

中世時代を地図でくらべながら歩いて分かって頂けたかと思えます。私も改めて勉強でき良かったです。



*参加者の感想から

堺の中世時代の地図と比べながら歩きました。環濠の位置、大小路の位置が少し異なっていること、地層と町の形成との関係など興味深い内容が沢山ありました。中世の堺をイメージすることが出来、自分でも掘り下げて調べてみたくなりました。

広報部 ニュース

★ JA「CROP」関係3月度活動

3月14日(日) 北区 百舌鳥本町 取材

3月21日(日) 編集会議

☆ ホームページの会員サイトのパスワードが変わります

当協会のホームページの会員サイトのパスワードが4月1日より変更になります。

新パスワードは同封の別紙を参照願います。

会員サイトでは各定点の活動マニュアル、ガイドマニュアルや協会の定款、配信動画などが閲覧できます。去る1月に無観客で開催をした公開講演会も見ることができます。

尚、会員サイトは我々会員のみが閲覧できるサイトです。パスワードは絶対に外部に漏れないように対応ください。

☆ 大阪の聖火リレーのスタートは大仙公園

3月25日に福島を出発した聖火リレーが4月13日に大阪にやってきます。

大阪のスタート地点は堺、大仙公園のいこいの広場になります。聖火は御陵通りを下り、南宗寺の横を通り、大道筋に出ます。そこを右折して宿院のさかい利晶の杜が堺市でのゴールになります。スタート時刻は7時30分、ゴール予定時刻は8時37分ですので、配置には影響はありません。

★ 再放送決定!! 黄金の日日



1978年(昭和53年)に放映されたNHK大河ドラマ「黄金の日日」の再放送が始まります。4月4日(日)から毎週日曜日の朝6:45から7:30に放映されます。

第1回目は南宗寺ロケを含む内容の放映で、方丈や枯山水の庭が登場します。ちょっと早起きしてご覧ください。

★ 訂正とお詫び

協会ニュース3月号の9ページ「お水送りとお水取り」の記事内で、後半部分のタイトルを「◇お水取り」のところを「◇お水送り」と記載しておりました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

《インフォメーション》

☆ 語学同好会のご案内

世界文化遺産“百舌鳥・古市古墳群”他、堺のことを直接自分の言葉で紹介できたら！
あなたのチャレンジ精神を発揮！ ご参加を募っています！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	4月 14日 (水)	14:00	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・韓国語同好会	4月 8日 (木)	13:30	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	4月 22日 (木)	13:45	堺市立国際交流プラザ6階会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は会場で直接申し込みください。

※ ベテランの方も新入会の皆さんも、奮ってご参加ください！

《ガイド便利MEMO》

☆ 各施設の2021年4月の休館日・休園日は以下の通りです。

新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、臨時休館・休園などとなる可能性があります。
状況にご留意の上、別途ご確認をお願いします。

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	6日・13日・19日・26日 休館
・堺アルフォンス・ミュシャ館	(休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日)	5日・12日・19日・26日・30日 休館 23日・24日・25日 展示替え休館
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日 休園
・市役所21階展望ロビー	(無休)	
・堺市博物館	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日 完全休館
・堺市茶室 伸庵	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日 休館
・みはら歴史博物館	(休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日)	5日・12日・19日・26日・30日 休館
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日)	5日・12日・19日・26日・30日 休館
・フェニーチェ堺	(休館：第1・3月曜日)	5日・19日 休館
・堺伝統産業会館	(休館：第3火曜日)	20日 休館
・さかい利晶の杜	(休館：第3火曜日)	20日休館(観光案内展示室のみ開館)

新規コンテンツ実施のため「仁徳天皇陵古墳VRツアー」は終了しております。

陸前高田の被災松の仏像

【妙國寺配置当番 濱口厚子】

令和3年3月11日 東日本大震災10年目



妙國寺 仏殿《一般公開はしていません》

「仏像にお会いできますか」 唐突な若い女性の申し出を受ける。

そして「お会いできますよね・・・」言わずもがなである。

「陸前高田の出身で、家族は無事、親戚、友人の犠牲もありましたが、今は、京都在住、妙國寺のことは調べてきました」問わず語りである。

客殿には

平成28年被災松の仏像彫刻を視察される天皇陛下（当時の皇太子殿下）の写真が掲げられている。

京都伝統工芸大学の学生さんと指導者仏師の須藤光昭氏

釈迦如来立像（2.7メートル） 1体

菩薩立像（2メートル） 4体

寄木造りで72本の被災松を使ったそうです。

貫首様の鎮魂行脚（震災時）から6年の歳月の2017年（平成29年）3月落慶法要とお聞きしています。

仏殿を

お寺様（大黒様）が快く開けて頂く。

仏像に圧倒されたようなお客様の感激の声を聞く。お一人で詣でて頂く。

お客様も大黒様も私も多くを語らず問わず・・・手を合わさせていただきました。

来てよかったです。と、笑顔でお帰りでした。

妙國寺の白木蓮がとても清々しく思えた1日でした。

被災松の仏像お披露目 七ヶ浜で七回忌法要

産経
WEST

2017.4.1

東日本大震災の津波で被災し、「奇跡の一本松」で知られる岩手県陸前高田市の高田松原の松で作った5体の仏像が3月30日、宮城県七ヶ浜町で開かれた震災の七回忌法要の会場でお披露目された。

仏像は高さ2.7メートルの釈迦如来像1体と、高さ2メートルの菩薩像4体。京都府南丹市の専門学校「京都伝統工芸大学校」の学生約30人が、大阪府堺市の妙國寺の依頼を受け、昨夏から半年間かけて彫り上げた。仏像は3月29日、制作を依頼した堺市の妙國寺で開眼法要を終え、宮城に搬送。30日の七回忌法要の後、再び大阪に戻し、寺に安置される。

堺唯一の総理大臣 鈴木貫太郎さんと私のまち久世（くぜ）

【杉本 信子】

私は中区檜葉に住んでいます。子供たちは久世小学校で学び「くぜっ子」と呼ばれていました。隣町の伏尾には太平洋戦争終結時の総理大臣「鈴木貫太郎誕生之地」と記した古い石碑と「久世関宿藩（せきやどはん）代官所跡」の案内碑が建てられています。そこから南へ20分程歩くと多治速比売（たじはやひめ）神社に着きます。鈴木氏揮毫の「敬神崇祖」の扁額が神社参集殿に残されています。境内の末社の一つ稲荷社には氏の名を記した玉垣があります。鈴木氏の生涯や関宿藩との関係・久世の由来を調べたく存じました。



堺の内陸部の開発は江戸時代・元禄期以降ですが、17世紀後半には東山・伏尾・檜葉・向山（小阪）に新田が出来ます。宝永2年（1706年）当時徳川幕府の若年寄であった下総の関宿藩主久世氏の知行になります。関宿藩は関宿城（千葉県野田市）を本拠とし譜代大名の久世氏が治めていましたが、この泉州にも約一萬石の飛び地（和泉大鳥郡・泉郡29村）を得、明治2年迄統治しました。（明治22年、関宿藩領であった小坂・八田東・和田・平井・東山新田・伏尾・檜葉新田が合併して久世村となります。村名は久世氏の名を拝借したそうです）

慶応3年（1868年1月）鈴木氏はこの地での最後の代官・鈴木為輔（ためすけ 由哲）の長男として久世家伏尾陣屋で生まれました。（この日に鳥羽伏見の戦いが勃発。お七夜には大阪城の火薬庫が大爆発、その振動で生家の障子がはずれたそうです）為輔は寛仁さで領民に慕われていました。

維新後、鈴木家は関宿に移り、貫太郎は海軍軍人の道を歩みます。（貫太郎少年の幼少期のあだ名は「泣き貫」、悲しい時辛い時情けない時には全身で泣く子供でした。両親は心優しい彼を医者にさせたのですが、海軍に入り外国へ行きたいという強い希望をしかたなく認めます）「長の陸軍・薩の海軍」の中で、賊軍出身の鈴木は「水雷戦術に鬼貫太郎あり」と認められるまでになり叙勲も受けませんが、36歳の時、人事に怒り堪忍袋の緒が切れ、海軍を去る決意をします。その折、決意を覆させたのが、父からの手紙でした。再び国への忠誠を誓います。その後は連合艦隊司令長官・軍令部長と昇進します。

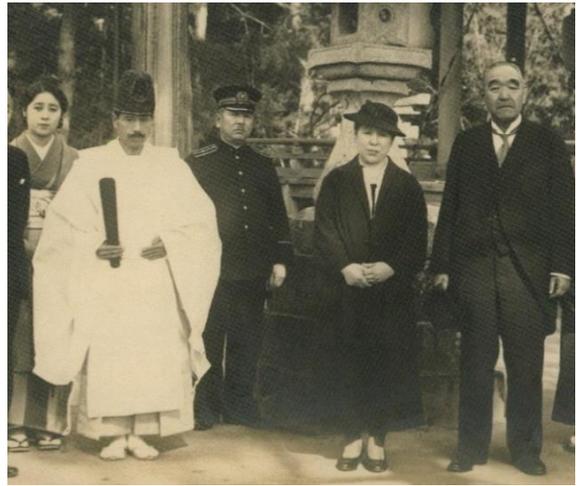
昭和4年、62歳。天皇の希望により侍従長に就任。これを機に伏尾の中辻氏が「誕生之地」の石碑を建之（けんし）しました。（右上の写真参照）。朝、宮中に出勤する時は必ず「お母さま、行って参ります」帰れば「只今帰りました」と座って手をつき、高齢の母に挨拶される方でした。天皇からは厚い信任を受けますが、一方では「君側の奸」と思われ命を狙われます。



昭和11年2月26日、陸軍の一隊が官邸を襲撃（2・26事件）。鈴木も3発の銃弾を受け倒れますが、夫人の必死の制止でとどめを免れます。奇跡的に生き延びた氏は昭和12年、生地に鎮座まします崇敬の念深い多治速比売神社に参拝。玉垣は大正12年奉納したものです（左写真参照）。九死に一生を得たのはひとえに神仏のご加護によると自伝に記しています。

昭和20年4月、天皇の強い要請を受け総理大臣に就任77歳です。沖縄陥落・東京大阪への大空襲・広島長崎への原爆投下、連合艦隊壊滅・ソ連の満洲侵攻など内外共に悲惨を窮めた状況でしたが、徹底抗戦・「一億玉砕論」が渦巻いていました。鈴木は平和を希求する天皇の強い意志を受け「聖断」による終戦に持ち込みます。

8月14日、終戦を閣議決定。天皇自らが詔書を読みあげられ録音した玉音放送を阻止しようとする叛乱が起り、鈴木は自宅を焼かれますが、ほうほうの態で逃げ延びました。(この時、消防団は駆けつけますが、「国を売った首相の家に水をかける義理はない」とメラメラと燃える家を眺めていたそうです)昭和20年8月15日正午、玉音放送がながされ国民は終戦・敗戦を受けとめます。その日の内に鈴木内閣は総辞職。昭和23年4月、閑宿にて鈴木貫太郎氏は80歳の生涯を閉じられました。



昭和12年 多治速比売神社をご夫妻で参拝

久世の名のもと地車祭・運動会・敬老会などが催され、私も参加させて頂いております。鈴木氏のようなすばらしい方と少しでもご縁があったこと、嬉しく存じます。

参考文献

- 『久世閑宿藩代官所跡と鈴木貫太郎』 久世校区まちづくり協議会
- 『聖断』 半藤一利 PHP文庫
- 『平井ふるさと昔話』 平井歴史懇話会

**「環濠都市遺跡」内の発掘調査の際に採取された地層剥ぎ取り標本が
さかい利晶の杜に展示されています**

さかい利晶の杜から北東に300m離れた堺区甲斐町西2丁の発掘調査で昭和61年1月に採取した標本です。現在の地表から約1.3mの位置から検出された慶長20(1615)年の焼土層は、茶室を備えた建物が焼けた痕跡で、畳や茶道具なども出土しています。

「利休さんや晶子さんが歩いた辺りの地層を想像するのも楽しいです」と、お客さんは興味深く見ておられました。



慶長20年(大坂夏の陣)の焼土層



泉北ウォーキング 3コース

前回に引き続き今回は、2コース目です。

【観ボラ南地域のつどい 宮尾喜治】



「梅・美木多駅起点コース」

梅・美木多駅 → 牛石古墳 → 行者堂 → 檜尾大橋 →
 和田川・甲斐田川合流点 → 和田邸跡 → 美多彌神社 →
 放光寺 → 梅・美木多駅 の6kmコース

・牛石古墳

西原公園に入ると、すぐに牛石古墳があります。後期古墳時代のもので推定されていて、被葬者は須恵器の生産に携わっていた首長クラスの人物と思われます。ただ、副葬品は全く出土せず、表面の土も剥ぎ取られて石室の天井石がむきだしになっており、その形が牛の寝ている姿に似ていることから「牛石古墳」の名がついています。



・行者堂

役行者とか修験道と云うと我々は清学院を思い起こしますが、ここ檜尾の行者堂には役小角像が安置されていて軒下には修験者の修業を伺わせる「歯が一本の鉄の高下駄」が掲げられています。諸国を巡り歩く修験者は一本歯の高下駄を履いて苦行したが、その極限に鉄の下駄を掲げて、戒めにしたのかも知れません。もう一つ、沓脱石です。踏み面に幾つもの穴が掘られています。これは、江戸時代から続く泉州の安産信仰の一つで「母子ともに無事でありますように」との願いを込めて、親指で血をにじませながら必死で石に穴を掘り続けて出来た「くぼみ」と言われています。修験道や山岳宗教そして泉州の安産信仰などに深い関わりを持つ「行者堂」。必見です。



・檜尾大橋

檜尾集落のなんとなく懐かしい雰囲気の中、細い農道を少し歩くと一気に展望が開けて檜尾大橋に。

この橋は、泉北1号線・泉北高速鉄道を開通させるために丘陵を開削してその上に造られました。それまでは檜尾集落は尾根続きで一つでしたが、それが2つに分断されてしまったのです。兩岸の住所を見ると、どちらも「檜尾」となっています。尾根の代りに檜尾大橋が造られた訳ですが、ここから見渡す景色は東西に大きく拓けていて壮観です。



・甲斐田川と和田川の合流点

前回、散策した光明池の鴨谷台の野球場あたりから、暗渠に入り約900m潜った甲斐田川が檜尾村を出て下りきった高橋というバス停のすぐ傍で、和田川と合流しています。ここでは、なぜか、いつも大きな鯉がウヨウヨ泳いでいます。



・和田邸跡

田園風景の続く和田川沿いを遡って行くと和田邸跡に至ります。4～5年前まであった「菊水の紋」が描かれた重厚な白い母屋も完全に取り壊され、今は高齢者施設になっていて、「旧和田邸跡」の石碑だけが残っています。和田川とか岸和田の名を残した一族も消えてしまったか？と正に歴史の流れを感じさせられます。

そして最後の行程として、平安時代の延期式にも載る「美多彌神社」と花の寺として知られる「放光寺」を訪れます。梅丘陵から檜尾村に至る田園風景、集落に残るかすかな昔の雰囲気、和田川沿いの自然を身近に楽しめる里道そして神社、お寺などの名所旧跡など変化に富む見どころたっぷりのウォーキングコースです。

< 3コース目につづく >

「撮るさかい、見てある記」(JA 月間情報誌「CROP」) こぼれ話 (その11) 【樽野 美千代】
東区 堺の地名の由来 (3)

東区は、もとの南八下村・日置荘町・登美丘町から成立しています。登美丘町は、昭和25年野田村と大草村が合併して成立。町名は、地域住民からの懸賞募集によるものです。東区のホームページによると「合併委員会が新しい町名を募集したところ野田村字西野の木村亀次さんの名づけた登美丘町に決定しました。

(中略) 丘陵地の景色の良い所で、この丘に登ると眺めも心も美しくなるとの意味がこめられていました」とのことです。

角川版の地名大辞典で、野田村は「明治22年～昭和25年。はじめ丹南郡、明治29年からは南河内郡に所属。北野田・南野田・高松・丈六・西野新田(のち西野)の5ヶ村が合併して成立」しました。同じく大草村は「関茶屋新田・高松新田・草尾新田の3カ村が合併して成立。村名は、当地域が近世の開拓前において大野の芝と総称されていたこと、また合併3カ村のうち草尾新田が最も大きい村であったことから、住民の希望により名づけた。昭和6年頃草尾から起立した大美野を加え4大字となる。」野田村に高松があるので、高松新田は中茶屋と改称しました。

草尾は、元禄11年(1698)から武蔵国の浅田喜兵衛・太田新蔵が開拓を始め、同12年踞尾(つくの)村の北村六右衛門、草部村の大塚吉右衛門があとをつぎ、同15年(1702)完成。新田開拓者である二人の居村の草部・踞尾両村の1字ずつをとって草尾と名づけました。江戸時代は煙草が名産品でした。

大美野は新しくつくられたまちです。昭和6年(1931)頃完成、もとは大草村草尾の一部。関西土地(のち関西不動産)という民間会社が、大がかりな宅地開発を計画し、社員をヨーロッパにあってまちづくりを視察させ、噴水を中心とした放射状の街路、平均面積100坪、生け垣に囲まれた広い庭のある住宅が並んでいます。代替わりで土地が売られてそのあとに6～8軒の住宅がたてられることがあります。大邸宅、建築家が建てたと思われる住宅も残っています。大美野という地名も、懸賞募集でつけられた名前、大草村と野田村の「大」と「野」を美しく結ぶという意味です。

大美野・・・CROP2018年6月号
 草尾・・・CROP2020年4月号



大美野の噴水(1日3回水が出ます)

＜ガイド豆知識 18＞

秀吉、利休と黄金（きがね）の茶室について

【山田 武彦】

天正10年（1582年）に信長が本能寺の変で討たれると、「三宗匠（堺の豪商茶人、津田宗及、今井宗久、千利休）はそのまま秀吉の茶頭となったが、首座に置かれたのは、信長の下で末席にあった宗易である。秀吉は信長以上に茶の湯に傾倒して利休を重用、政治的にも重要な補佐役を務めさせる。」（橋本麻里・黄金の仮想現実）

「秀吉の存在がなければ、その後の茶の湯の歴史はまったく違ったものとなり、あるいは現在まで続くこともなかったかもしれない。秀吉がいて、その下に宗易がいたことが、その後の茶の湯の歴史を決定的に方向づけたという過言ではないだろう」（神津朝夫・茶の湯の歴史）と言わしめている。

それでは秀吉と利休が関わったものを年代順に2,3上げて見ると、「現存最古にして究極のわびの茶室、と称される〈待庵〉からして秀吉が宗易に命じてつくらせた茶室だと伝わっており、成立時期も天正10年付近であることは、大方の一致するところだろう。ここから自刃までの約10年」、宗易は「山を谷、西を東と茶を湯の法度を破り、物を自由にす。」（山上宗二記）と、「侘び茶の理想を求めて疾走する。そしてその傍らには、常に秀吉の存在があった」（橋本・前提書）

天正13年（1585年）7月秀吉・関白就任 同年10月7日宗易を連れて御所へ参内、正親町（おおぎまち）天皇をはじめ数人の公家達を客に迎えて禁中茶会を開く（これが、武家のものだった茶の湯が公家の世界へ公式に持ち込まれた最初になる）

この時に宗易が「利休」の居士号を賜った。（しかし利休という字をいつどこで誰にももらったかは定かではありませんが、この時に勅許されたことは事実です）

天正14年（1586年）1月16日に前回とほとんど同じ顔ぶれで2回目の禁中茶会が開かれる。ここで黄金の茶室が登場する。「この後で茶室は大坂城に戻されたらしく、イエズス会の宣教師なども見ている」との記録もある。「そして翌年天正15年（1587年）北野大茶湯に際して広く一般に公開され、天正19年肥前名護屋城へ持ち込まれた記録を最後に、行方が分からなくなる。」

ここで問題なのは、この茶室の制作に利休が関わったかどうかですが、この時代の利休の存在価値の大きさから見て関わらない方がおかしいと私は思います。それではこの茶室に利休の理念は生きていたかどうか、幸いなことに協会の大部分の皆様は過去に「利晶の杜」においてこの黄金茶室の復元されたものを見ておられる。不幸にして見なかった人に言うと、詳しい茶室の説明は避けるが、結果として「黄金の時代」と言われる桃山時代、「黄金尽くしの茶室もまた、天皇を迎えるハレの空間、聖なる空間として、皆金色をもって荘厳された。この世ならざる場を現出させることに成功しているのである」（橋本・前提書）

“黄金の・・・”というだけで“金ぴかの”俗悪な成金趣味を想像してはいけない。言うなれば仏殿に座って仏さまを見ているような感覚であるが、これは黄金と光との調和は見逃せない。



ここに“芸術家”としての利休の存在価値を見るのである。もう一度思い出してほしい「藁屋に名馬つなぎたるがよし」といった茶の湯の開山「珠光」以来の、茶道の伝統的趣向とってよく、そこに、珠光流茶道の理念と伝統を受け継いだ堺の茶湯者千利休の茶事に対する見識を感得することができる」(桑田忠親・千利休)のである、

「この黄金の茶室も、バブルの時代の金満紳士の金のロレックスとは違い、茶の湯の歴史におけるあだ花では決してない」(橋本・前提書)

ところが大抵の識者はここを見逃している。それが証拠に御所に持ち込まれる前年に秀吉と利休は御所において茶会を、2回目と同じメンバーで催しているではないか。これこそ黄金の茶室のこの場所に合うかどうかの下見を兼ねた偵察ではなかったか。即ちこの茶室の持ち込みは実に綿密な計算の上に成り立っているのである。

(次回にはもう少し利休の仕事ぶりについて書いてみたい)

注・・・古来より「鉄はくろがね」といい、「銅はあかがね」「金はきがね」という(桑田忠親著『千利休』)また『「きがね」は「こがね」に同じ(広辞苑)

参考文献	橋本麻里	図書 2020	6月号	岩波書店
	桑田忠親	千利休		中公新書
	山上宗二記	熊倉功夫校注		岩波文庫

町屋歴史館(山口家と清学院)で「ひな飾り」を展示

令和3年3月3日から4月3日まで、山口家住宅では大正時代の御殿飾りとひな飾りと共に、「立雛図」など桃の節句ゆかりの掛け軸が、清学院では清学院に伝わる雛道具が展示されていました。また期間中、町屋歴史館周辺の「堺七まち」の町屋や店舗などでも可愛い雛飾りを見ることが出来ました。



山口家の雛飾り



清学院の雛飾り



☆ 2021年(令和3年)4月度 月間予定表

日	曜	行 事	時 間	場 所
1	木	第30期ボランティアガイド入門講座開講式	13:30	東洋ビル
2	金			
3	土			
4	日	JA「CROP」取材 中区 堀上緑町	8:15	堺東駅前集合 バス 8:15 発
5	月	定点ガイド部Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		年次リーダー会	10:00	堺市総合福祉会館
		運営委委員会	14:00	東洋ビル
6	火	定点ガイド部Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
7	水	30期入門講座2日目座学	13:30	東洋ビル
8	木	ツアーガイド部会議(見学可)	13:30	堺市総合福祉会館
9	金	企画部会議(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		事業部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
10	土	JA「CROP」編集会議	14:00	山之ロプラザ
11	日	4月の自転車ツアー(古市古墳群を訪ねる)	9:30	百舌鳥古墳群ビジターセンター前
12	月	30期入門講座定点実地研修(前期)	13:30	大仙エリア、展望ロビー
13	火	定点ガイド部全体会議(見学可)	9:30	堺市総合福祉会館
		研修部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
14	水			
15	木	30期入門講座定点実地研修(前期)	13:30	大仙エリア、展望ロビー
		協会ニュース2021年5月号原稿締切り		
16	金	広報部会議(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		総務部部会(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
17	土	第41回堺新発見ツアー「キリスト教の基地・堺」	10:00	南海本線堺駅東口
18	日			
19	月	部長会	9:30	堺市総合福祉会館第1会議室
20	火	堺観光情報連絡会	10:30	市役所高層館2階
21	水	30期入門講座定点実地研修(前期)	13:30	大仙エリア、展望ロビー
22	木			
23	金			
24	土			
25	日			
26	月	協会ニュース2021年5月号 発行作業	10:00	観ボラオフィス
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
【予告】				
5/25(火)		全体研修会「千利休と戦国武将」午前の部	10:00	東洋ビル
5/25(火)		全体研修会「千利休と戦国武将」午後の部	14:00	東洋ビル

編集後記

丁度一年前、編集後記で新型コロナウイルスの脅威を取り上げ、一日も早い鎮静化を祈念しましたが、今月に入ってやっと緊急事態宣言が解除、先の見通しがついたかな？の感じですが、まだまだ予断は許されず、あとしばらくは辛抱が続きます。

しかしながら、周辺を見ますと大仙エリアに新たにビクターセンターがオープンし、大仙観光案内所も新装入居しています。大仙公園の桜の開花も真近く、先般送付の「大仙公園桜マップ」をご参照下されば幸いです。

また四月に入ると、懐かしい「黄金の日」の再放送が始まります。(毎週日曜日朝6時45分〜7時30分 NHKBS)

ただ、新年度の始まりにあたり外出の機会が多くなると思われます。是非、新型コロナウイルスの感染には十二分に御注意のうえ、楽しく元気に協会活動の再開等に参加しましょう。

(生島 英造)

ひといき休憩 はしやすめ

右の像はどなた???

ヒント：今月号協会ニュースに出ています。

